

教職員一丸で子どもの成長支援

11月17日に池川小学校、11月25日には仁淀中学校で、教職員の研修の一つである教育委員会指定の研究発表会が開催されました。17日は小学校教職員、25日は全教職員が参加し、授業方法やそれぞれの学校の取り組みについて学びました。

両校で行われた公開授業では、児童や生徒が課題に対し意欲的に考え、クラスメイトと共に、学習を深めていました。また子どもたちの日ごろの取り組みを発表するアトラクションも行われました。池川小学校では群読や南中ソーランが披露され、見ている方が元気をもらえるような発表でした。一方、仁淀中学校では3人の生徒による凛とした意見発表と、全生徒による美しい合唱が披露されました。両校とも日ごろのまじめな取り組みが伝わってきました。

その後、池川小学校は、子ども同士が「伝えあい、関わりあう」ことを通して確かな学習力を身につける取り組みについて、仁淀中学校は、現在全国的な課題となっている読解力を高める授業改善の取り組みについて発表しました。それぞれの

学校の教職員が一丸となって子どもたちに力をつけようと頑張っている様子がうかがえ、その取り組みが子どもたちの姿に反映されていました。

勉強を教えることが教師の大事な仕事の一つですが、子どものよりよい成長を目指し教師も学び続けています。



池川小の発表



仁淀中の発表

子どもの読書活動支援員便り

☆お知らせ

①移動図書館(巡回バス)が来町します

1月20日(木)

仁淀教育事務所 10時10分～10時50分

中央公民館 14時10分～15時00分

＊好きな本をお選びいただけます。直接ご来館ください。

②高知県立図書館 巡回展示

「こころと、向き合う。」コーナー

1月17日(月)～3月11日(金) 中央公民館2階ロビー

＊メンタルヘルスについて簡単に解説されているリストをはじめ、108冊の関連本が閲覧・貸出できます。内容は「メンタルヘルス対策について」「心の病について知る〈全般×うつ病×統合失調症×成人期の広汎性発達障害・AD/HDなど〉」「精神障害・知的障害のある方の自立支援・生活支援」に分けて展示します。ぜひご利用ください。

③2011年版「若い人に贈る読書のすすめ」リーフレットを配布中

☆仁淀川町の中学生がすすめる一冊

第6回目のおすすめの図書はこちらです。

1.『伝説の勇者の伝説』(シリーズ11冊他既刊)

鏡貴也著 富士見書房刊

＊漫画化されており、ゲームやテレビアニメなど様々なジャンルで展開されている。

・池川中学校2年 岡林佐記さん



おすすめの理由 ライナとシオンの友情と裏切り...いろいろなことがあります。そこが良いです。『伝勇伝』(略称)読んでください。ペコ

2.『空想科学読本』(シリーズ9冊他既刊)

柳田理科雄著 メディアファクトリー刊

＊「SF科学」考察本。映画やマンガなどで描写されている事象を実際の現代科学で再現すればどうなるかを物理法則にあてはめてシミュレーションしている。ユーモアあふれる文と科学的な検証が好評を博してベストセラーに。

・仁淀中学校3年 神岡将太君



おすすめの理由 今までにない内容の本。新感覚。

仁淀高校便り

変 HEN 変

仁淀高校3年 山田愛里

仁淀高校の「総合的な学習の時間」では、地域をテーマに学習を進めています。昨年度、私は「仁淀川流域の方言調査」をテーマに選びました。方言調査をする中で、今まで聞いたことがなかった方言をたくさん聞きました。

例えば、カエルを「オンビキ」「オンバス」「ビキ」などと、地域によって様々な呼び方をすることや、踝に「トリコノフシ」「クルミブシ」「カイフノコッポ」などの言い方があることが分かりました。

現在の生活とは違う、昔の生活についても聞くことができました。私はもつと深く方言を知りたいと考えていましたが、今年は生徒数が少ないため、調べるのができなくなりました。

でも、これまでの調査結果をまとめた小冊子先輩と協力して作ることができました。構成を考えることから始まり、イラストを書き、全てが大変でしたが、完成したときの嬉しさはまだ覚えています。そして作った小冊子を市内の小学校に配布することができました。もつと私たちの地域のことを知って、方言に興味を持ってほしいと思いました。

方言はどんどん少なくなっています。なぜならテレビなどの影響もあり若い人は

方言を使わなくなっているからです。私もその一人です。でも、方言調査を通して、たとえ方言を使わなくても、方言を知っておくだけで、以前よりももつとこの地域を好きになれた気がしました。

そして、方言だけでなくコミュニケーションの大切さも学びました。方言調査では、お年寄りとお話するため聞こえやすいように大きな声ではっきりと話する必要があります。私は以前から話すとき緊張して声が小さくなりがちでした。しかし方言調査を通じて以前よりも大きな声で話すことができるようになりました。

残念ながら今後、仁淀高校での方言調査は、できなくなります。が、なにかの機会があれば私たちの地域の方言を一人でも多くの方に知ってもらいたいと考えています。

方言調査に協力してくださった方々、本当にありがとうございました。



広告

あなたのまわりの車やさん

車検のことならおまかせを！
一度は電話ください。待ってます！



吾川自動車

電話 35-0778

営業時間 8:00~18:00

定休日 日曜・祝祭日 第2・4土曜日

仁淀川町向口 代表者 宮崎 照夫

四運証 第80-1115号 トヨタ検定一級技能整備士(保有)
自動車検査員(有資格者) 自動車整備業賠償共済保険加入事業場

広告

新春のお慶びを申し上げます

本年もよろしくお願い申し上げます

土地・建物売買登記、生前贈与登記、相続登記、商業登記、法人登記、債務整理、自己破産、裁判に関する手続き等に、司法書士をご活用ください。



司法書士法人
フレンズ

司法書士 岡村 敬造

仁淀川町大崎444-1 (JAコスモス吾川支所前)

電話 0889-20-2026

FAX 0889-20-2027

民産学官協働研究プロジェクト始動

地域資源で循環型生活をする定住社会づくり

10月29日に仁淀川町観光センターで、民産学官協働研究プロジェクト「Bスタイル：地域資源で循環型生活をする定住社会づくり」キックオフミーティング（開始式）が開催されました。

このプロジェクトは、独立行政法人森林総合研究所四国支所、NPO法人土佐の森・救援隊、によど自然素材等活用研究会が、地域の住民と団体、NPO、大学、市町村、県などと協働体制を組み、地域にある自然資源を再発掘し、生業へと繋げていくために開始した社会実験事業です。

（事業期間：平成22年10月～平成25年9月の3年間）

ここ仁淀川町で、森林資源を主体としたエネルギーの地産地消を推進し、地域資源を循環的に利用した生業によって生活する環境共生型の生活様式の確立を目指していきます。そのために、地域資源を再発掘し、それらを使った多数の生業化を考え、実証実験後の百の生業作りによって、定住ができる社会を作っていきます。

地域が使える技術で自立を目指す、初の社会技術開発「Bスタイル」で、仁淀川流域における将来像を作り、この様子を仁淀川町から全国へ発信

していきます。

本事業の推進に伴い、仁淀川町のあらゆる場所で行いますので、町民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



分科会では各グループの活動を検討

問い合わせ

独立行政法人森林総合研究所四国支所(田内)

☎088-844-1121

によど自然素材等活用研究会(井上)

☎090-8696-7707

NPO法人土佐の森・救援隊(中嶋)

☎090-8973-5752

なくそう鳥獣害・めざそう地域ぐるみの被害対策 鳥獣被害対策担い手育成事業研修会

県では、近年野生鳥獣による農林業被害が深刻化していることから、地域における鳥獣被害対策についての研修会を行います。

入場無料(要申し込み)ですので、お気軽にご参加ください。

日時

イノシシ対策 2月2日(水) 9時30分～

カラス・カワウ対策 2月18日(金) 9時30分～

※両日とも15時30分まで

場所 すこやかセンター伊野

申し込み期限 1月24日(月)

申し込み先・問い合わせ

高知県文化生活部鳥獣対策課

☎088-823-9039

広告

家庭教師

友だちと一緒にでもOK

中学生（英・数）
小学生（国・算・英）

曜日・時間・内容など相談の上、決めます

仁淀川町土居甲

連絡先 090-3556-3158(石川)

メッセージを入れていただければ、ご連絡いたします